



顕微鏡事業100周年 特別企画

2025年、顕微鏡事業が100周年を迎えます。
1925年にニコン初の顕微鏡「JOICO顕微鏡」の誕生から紡いできた100年の歴史。
その名を冠した「NIKON JOICO AWARD」は、2019年にスタートし、今年で7年目を迎えます。
記念すべき100周年の節目に、NIKON JOICO AWARDを過去に受賞された方の歩み、
そしてご研究の軌跡をたどる特別企画を開催いたします。

『受賞者の今』

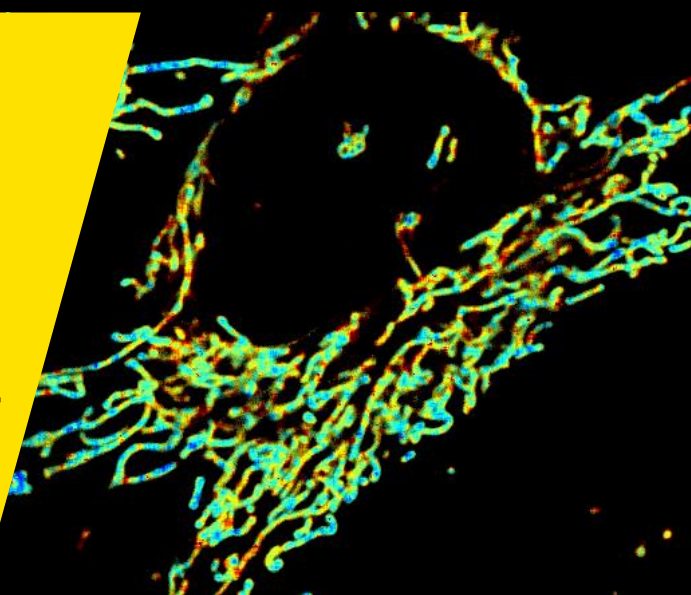
2025.6.24 (TUE) 16:00 START

超耐光性 分子プローブによる オルガネラ膜動態観察



多喜 正泰 先生

岐阜大学
糖鎖生命コア研究所
教授



光褪色は、蛍光イメージングに取り組む多くの研究者にとって深刻な課題である。これに対して我々は、超耐光性を有する一連の有機蛍光分子を開発し、オルガネラ動態の高時空間分解能観察に取り組んできた。なかでも、細胞内における局所環境の違いを可視化する「環境応答性蛍光プローブ」は、オルガネラ特性の解析に有用なツールである。本講演では、これらの分子プローブを用いたオルガネラ膜動態の観察技術について紹介する。

○開催方法

オンライン: Zoom(無料)

○お問合せ

株式会社 **ニコン ソリューションズ**

バイオサイエンス営業本部
E-mail: Nsl-bio.Marketing@nikon.com

お申込みは**こちら**





NIKON
JOICO
AWARD

2019 特別賞

細胞飢餓状態で発達した
ミトコンドリア内膜の超解像画像

栄養飢餓状態の細胞において
伸長したミトコンドリアの内膜構造が
密になっている様子を超解像顕微鏡によって捉えた

ヒト由来細胞株HeLa細胞、ミトコンドリアのクリステ

サンプル詳細: 細胞膜透過性ミトコンドリア蛍光標識剤
(MitoPB Yellow) 標識した飢餓状態下のHeLa細胞
観察手法: 超解像顕微鏡、蛍光
観察倍率: 100X
撮影年: 2018年

ご経歴

2024年～現在	岐阜大学 糖鎖生命コア研究所 教授
2014年～2024年	名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所 特任准教授
2016年～2020年	JSTさきがけ 「統合I細胞解析のための革新的技術基盤」 研究者兼任
2012年～2014年	京都大学 大学院人間・環境学研究科 助教
2004年～2012年	京都大学 地球環境学堂 助手・助教
2003年～2004年	大阪市立大学 日本学術振興会 特別研究員PD
2002年～2003年	Northwestern University 日本学術振興会 特別研究員PD

ご受賞歴

2020年	2019 NIKON JOICO AWARD 特別賞
2020年	イノベーション賞 科学技術振興機構 さきがけI細胞領域
2019年	第36回「とやま賞」富山県ひとづくり財団
2009年	第24回生体機能関連化学シンポジウム 講演賞 生体機能関連化学部会